

てんま 天満の どらやん



作／かたおかしろう
演出／二世茂山千之丞
演替／三世茂山千之丞
お囃子指導／藤舎呂浩
美術・衣裳／谷ひろし
(人形劇団京芸)



むかし むかし 大阪の
天満の町に住んどつた
のんきぼうずのとらやんが
まむし丼食べたいな
うなぎを一匹買ってきて
まな板の上にながせて
キリでエイヤツ！ とつきさした
と思つたら
うなぎによりりとにげだした
「あつ こら まてえ
まつてくれ うなぎど〜ん！」
とらやん とらやん どこいくねん
うなぎ追いかけどこいくねん
まちこえ川こえとこいくねん
とらやんの冒険旅行
はじまり はじまり

さあ とらやんといつしよに
大旅行！

「天満のとらやん」の見どころで、特
徴的なのは「舞踊唄芝居」ということ
です。まさに作者独自の奔放な発想から創
り出されたユニークな形式でしょう。ポ
ンコ、ポンコとのんびりとした木魚のリ
ズムにのり、出語り太夫がチヨボクレ節
を唄い出します。バックではいろいろな
和楽器を使つたお囃子が彩つてゆきま
す。このわくわくする幕開きは、子ども
たちをまず引きつけます。

もう一つは、作者が描きこんだ主人公
「とらやん」の庶民的な人柄でしょう。
「とらやん」は実に生き生きとして、観
客を魅了しています。

大阪の民話の中にあるバイタリテイと、
庶民のエネルギーを持つ「天満のとらや
ん」大旅行話に、子どもたちは目を輝か
せて、「とらやん」といつしよに、うな
ぎを追いかけて、大根をぬき、傘をはり、
雷に、乙姫さんに会うことでしょう。

コーロはエスペラント語で「心」、そ
してエスペラントは「希望ある人」を意
味します。全ての子どもと全ての大人が
エスペラントになってくれるように、今
日もコーロは……「とらやん」は、たく
さんの子どもたち、大人たちに会うため、
西に東に「大旅行」をします。

一般社団法人 劇団コーロ



演劇を通して生きる力を！

私たちは、「現代を的確に捉え、人々が未来を語る糧となるべき演劇を創造
するとともに、演劇の普及・向上に努めることにより、我が国の演劇の発展
に寄与すること」を目的とした一般社団法人劇団コーロを設立いたしました。